

らちしゅんいち

良知駿一 活動報告

第3号



ご挨拶

いつも大変お世話になっております。浜松市北区選出の静岡県議会議員の良知駿一です。世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が起因となって人々の活動が制限され、心理的・社会的・経済的等の大きな損失が発生しました。私自身としては、地域のお祭りなど各種イベントが中止・縮小される中で皆様の前に顔を出してお話を拝聴する機会も減ってしまいましたが、その分、政策研究や要望への取組等の時間に充ててまいりました。また、選挙時にも訴えさせていただいた「**行政のデジタル化**」は、コロナ禍でさらに注目されることとなりました。デジタルの理論・技術そのものを得意とする議員は日本でも限られます。長い間ITの分野で研究開発に携わってきた経験を存分に生かせるよう邁進してまいります。そして今後も地域の声にも耳を傾け、実情に合った政策がなされるよう県に働きかけてまいります。

今年度の所属

静岡県議会は5月から新しい委員会等に配属になります。今年度は以下に所属しています。

- **文教警察委員会(常任委員会)**
 昨年は建設委員会で公共交通への取組の調査研究を行いました。今年度は当委員会で警察事業の視点から渋滞等の交通課題への取組を調査研究していきたいと考えています。また、国のGIGAスクール構想を始めとした、ICT(情報通信技術)を活用した教育への提言を行ってまいります。
- **情報通信技術活用特別委員会**
 元々の技術系の人間であった経歴を買われ、1期生ではありますが当委員会への配属が決まり、審議を重ねています。

事務所のご案内



静岡県議会議員

らちしゅんいち

良知駿一事務所

連絡先

TEL : 053-523-7400
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com
 URL : <https://rachi-shunichi.jp/>

PROFILE

1982年 ● 8月14日生 (浜松市)
 1995年 ● 気賀小学校 卒業
 1998年 ● 細江中学校 卒業
 2001年 ● 浜松商業高等学校 情報処理科 卒業
 2005年 ● 静岡大学 情報学部情報科学科 卒業
 2007年 ● 静岡大学大学院 情報学研究科 修了
 ● 浜松市内のITベンチャー企業に就職
 2010年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 入団
 2015年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 分団長就任
 2017年 ● 浜松市消防団北区支団本部 大規模災害教育隊 入隊
 2019年 ● 静岡県議会議員 初当選 (浜松市北区選出)

得意分野: 情報通信技術・地域防災
 趣味: バドミントン・ジム通い・ギター
 音楽鑑賞 (ジャズ・山下達郎・ステイビーワンダー)

前回(第2号)の活動報告からの議会活動

前回の報告から4・5月の2回の臨時会と6・9月の2回定例会、また第1～5回の特別委員会がありました。この期間における各臨時会・定例会では、主にその時の新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に基づいた補正予算について審議されました。一般会計の当初予算は1兆2,792億円でしたが、9月補正予算で計**1兆4,009億円**となりました。(新型コロナウイルス感染症関連事業において**1,245億円**の補正)

以下は、臨時会・定例会で開かれた常任委員会や、特別委員会での主な私の質疑です。



委員会質疑 Q・要望が良知、Aが当局

Q (6月文教警察委員会)
 サイバー犯罪捜査の人材確保の取組方針は？

A
 ICTへの知見等、自己推薦区分における人材の募集を始めている。育成について、警察庁主催の専科教養の受講や捜査員を派遣しての実戦型の教養、さらには民間事業者へ一定期間捜査員を派遣して研修を受講させるなどして育成を図っている。今後も継続して実施していく。

Q (6月文教警察委員会)
 ICTを活用した教育に関して能力の高い教員の取組の紹介や活用は？

A
 掛川西・静岡東・伊豆総合・浜松城北高校には非常にICT活用能力に長けた先生がおり、コロナ禍においてもいち早くオンライン学習に対応できている。当然その内容をフィードバックしなければならず、他校の先生方が実際にその学校に来て指導を受けている。そのような取組については、県教育委員会で発信しているポータルサイトで全校に向けて共有を図っている。

Q (6月文教警察委員会)
 教職員の精神疾患について。教員がやるべき業務とそうでないものを分類し、県教委が組織として教員を守っていくべきではないかと思うがどう考えているか？

A
 県において平成28年度から平成30年度に行った未来の学校「夢」プロジェクト事業の中で、外部有識者の助言も頂きながら校務分類整理表を作成している。まだ定着度合いは十分と言えないので、引き続き各学校に取組を促すとともに、内容の更新も含めて検討していきたい。

Q (6月文教警察委員会)
 生徒が使用する端末のネットワーク対応について。主なネットワーク構成にはWi-Fiと携帯電話回線(LTE等)がある。現在はWi-Fi環境が主であるが、携帯電話回線には特別教室や体育館等で使える、管理を通信キャリアに任せられるなど、生徒・教職員に大きなメリットがある。比較検討は？

A
 既に無線LANが整備済みの学校が多いため、Wi-Fiモデル整備した。ただ、校外で使用することもあり、また速度面でもLTEモデルの方が優れている場合もある。市町の中でもLTEモデルを採用しているところもある。

Q (6月文教警察委員会)
 県立学校のトイレの洋式化について。現状と100%を目指す考えは？

A
 令和元年9月現在で44.6%である。コロナ対策によって51.4%(特別支援学校と高等学校中等部では100%)になる。学校の意見を聞きながらではあるが、100%を目指す方針として考えている。

Q (7月情報通信技術活用特別委員会)
 紙ベースでの資料、根強いファックス文化等、県庁職員のICT対応が進んでいないが、どこからどのように進めていくのか？

A (経営管理部)
 モバイルパソコン導入にあたり、ICTリテラシー向上のための勉強会を開き、ネットワーク等の研修を行いたいと思っている。職員全体のリテラシーの向上が重要であると考えている。

委員会会議録

右のQRコードからご覧ください。



委員会質疑

Q・要望が良知、Aが当局

Q (7月情報通信技術活用特別委員会)

県の光ファイバー網の世帯カバー率が99.2%であるが、これを100%にする考えはあるか？これにより移住政策等にも有利になると考えている。

A (経営管理部)

移住政策等にも有利になり100%を目指したいとは思っている。中山間地等、コストがかかる地域もあるが、国の事業を活用し、無線等も用いながら整備率を上げていきたい。

Q (9月情報通信技術活用特別委員会)

デジタル・ガバメントに取り組む組織について。ICTは全ての分野で基盤になってくる。国から市町村に至るまで行政組織は縦割りであるが、ICTの性質上、全ての部局にまたがった組織でなければならないと思うがどのように考えているか？

A (内閣官房IT総合戦略室)

システムの基盤的なところがバラバラであったところは反省点であり、共通化していく必要がある。国でも横串を通じた形で進めていきたいと思っている。県・市町村でもそのような部局が必要であり、国とも連携していくことがデジタル化を進める早道ではないか。

Q (9月文教警察委員会)

県立高校のエアコンの整備計画について。来年中に全ての全ての普通教室に整備されるということだが、それ以降の整備計画は？

A

県立高校の特別教室へのエアコン整備率は今年の9/1の時点で36.6%であり、全国平均の46.8%を下回っているため、次の計画で設置を進めていく必要があると考えている。今後、設置対象室・整備方法などについて検討する予定である。

Q (9月文教警察委員会)

ICTを活用した渋滞への取組はどのようなものがあるか？

A

新たな技術を活用した信号制御等をはじめとした交通管制システムの高度化は、極めて重要であると認識している。現在、人工知能を活用した交通信号制御の高度化に係る研究開発が実施されることとなり、より効率的かつ円滑な交通流の実現が期待される。本研究開発は、来年度以降、静岡県内で実証実験が予定されており県警察としても実験場所の提供や自立支援等により、実験が効果的に行われるよう積極的に関与している。

Q (9月文教警察委員会)

都田地区は工場の誘致により、通勤時間帯等に交通量が非常に多くなっている。環境の変化によって交通に影響が出ている場合、県警察としてはどのように取り組んでいるか？

A

信号サイクルの見直し、都田テクノロードの信号機を地点制御から系統制御へ高度化、また生活道路における渋滞規制の実施等に取り組み、浜松市とも連携して進出企業に対する通勤時間・ルートの分散化を依頼している。それから企業における交通講習の実施をするなど、ハードとソフトの両面で対策を講じてきた。交通量等の交通状況は沿道環境によって変化していくものであるため、引き続き交通実態に応じ的確に対応していく。

Q (9月文教警察委員会)

高齢者講習の受講待ちについて。解消させるための県警察としての取り組みは？

A

運転免許センターで実施する認知機能検査や臨時高齢者講習の実施回数を増やすなどとして、受講枠を拡大して受講人数の増加を図っている。この結果、運転免許センターでの8月末における認知機能検査の実施件数は前年同時期より5,293件増加し、9,477件となった。また本年に入り、中・西部の地区で3か所の指定自動車教習所において高齢者講習等専用の施設を設置するなど、講習受入体制の拡充を図っていただいております。受講待ちの解消に効果が期待される。

その他の活動

●浜名湖におけるマリンレジャーに関するルールへの運用

静岡県河川管理条例でプレジャーボート等の遊走行為について制限が定められています。しかし、水上オートバイについては「自主規制」というグレーの状態であり、行政・警察ともにルールを効果的に運用できていないのが現状です。

今後、浜名湖を観光・防災等、様々な形で活用していくために、まずは適切なルールの運用が必要だと考えており、静岡県浜松土木事務所と協議を重ねています。

●中山間地における高速通信回線（光回線）整備

今や遠隔のコンピューター等の間をつなぐ高速通信網は、電話網に代わるインフラの一つとなりました。高速通信網を活用することで、距離的・時間的ハンディキャップを小さくすることが可能になります。コンピューターは若い世代・都市部にのみ関係あると思われがちですが、活用によって全ての世代、そして中山間地においても大きな効果をもたらします。

私はIT技術者であったため当初から整備を推進すべきだと考えていました。大きく関与するのは浜松市になりますが、静岡県 ICT 政策課・浜松市情報政策課・民間の大手通信事業者と情報交換や提言を行い、先述のように7月情報通信技術活用特別委員会でも取り上げ、積極的に活動してまいりました。

●静岡県議会からの国に対する意見書への提言

定例会毎に県議会から国に対して意見書を提出する機会があります。

選挙時から訴えており、またコロナ禍において行政の不手際が続いていたこともあったことから、「デジタル・ガバメントの強力な推進を求める意見書(案)」を提案し、6月定例会で可決されました。

などなど…

意見書

右のQRコードからご覧ください。



お知らせ

令和3年2月定例会にて一般質問で登壇する予定です。日程等は静岡県議会のホームページで公開されます。インターネット中継もございますので、ぜひご覧ください。



ラジオで県政情報を発信しています。

- FM Haro! (76.1MHz)
- モーニングサテライト
- 毎月第4金曜日担当 午前7:00～7:30